

通訳者が 災害医療について学ぶ セミナー

2017年
2月25日(土)
14:00~17:00



災害



医療



通訳

参加費
無料

(※要事前申込)

定員
80名

言葉がわかるかどうか——。
災害時の医療現場では、
これによって外国人患者の生命が
大きく左右されることがあるのです。

このセミナーは、主に通訳者および通訳者をめざしている方々を対象に、
今後さらに注目度が高まるであろう「災害医療」の概要にふれていただくものです。
被災した外国人が受診する医療現場では、通訳者、または通訳ボランティアが
貴重なマンパワーとなるはず。
通訳という技能を災害時に活かす、その第一歩をこのセミナーから踏み出してみませんか？

※通訳者でなくとも、災害医療に関心のある方の参加も大歓迎です！

会場

神戸常盤大学
4号館 4203教室

神戸市長田区大谷町2-6-2
JR西日本・神戸市営地下鉄「新長田」駅より徒歩15分



講師紹介



はた きよみ
畑 吉節末 氏

保健学博士(神戸大学大学院保健学研究科、「災害看護教育プログラムの開発」)。兵庫県職員として、阪神・淡路大震災時には被災地の避難所等の支援に従事したほか、県立病院・看護専門学校・保健所等での勤務を経て、2008年より現職。

経験を活かした効果的な教育プログラムの開発に取り組んでおり、学生の災害支援ボランティア活動指導や、災害拠点病院と連携した教育訓練にも参加。

日本看護学会による優秀論文賞の第1号となった「災害経験を持つ看護管理職がとらえた看護実践上の課題の検討」をはじめ、理論を基にした具体的で実践につながる災害看護研究を旨として、国内だけでなく世界災害看護学会等でも発表を行っている。

プログラム (敬称略)

14:00~14:10 開会ご挨拶

吉富 志津代 (特定非営利活動法人 多言語センターFACIL 理事長)

14:10~15:10 第一部: 講演 「災害時における医療の現場—過去の災害対応事例をもとに」

畑 吉節末 (神戸常盤大学 保健科学部看護学科 教授)

15:20~17:00 第二部: ワークショップ

- ①ブレインストーミング「あなたならどうする?—もし被災地での医療通訳を頼まれたら」
- ②災害後の医療看護の場面を想定したシナリオをもとにした通訳練習

■申込はEメールで

前日までに【①名前 ②連絡先 ③職業 ④所属機関・団体名 ⑤通訳できる言語名 ⑥通訳経験(年数)】を記載し、Eメールでお申し込みください。(電話でも申し込み可)

■申込・お問い合わせ先

(特活)多言語センターFACIL (担当:李、安西)

Eメール: facil@tcc117.jp TEL: 078-736-3040

〒653-0052 神戸市長田区海運町3-3-8 たかとりコミュニティセンター内 <http://tcc117.jp/facil/>

■主催:特定非営利活動法人 多言語センターFACIL ■共催:学校法人 玉田学園 神戸常盤大学

※本セミナーはJR西日本あんしん助成財団と公益信託神戸まちづくり六甲アイランド基金の助成を受けて開催されます。

Illustrated by freepik.